

教師用 指導案

1. 授業名

テーマ1 パラリンピックの価値

授 業 5 「パラリンピアンが学校に来るとしたら」

2. 授業の目標

- ・車いすのパラリンピアン（パラリンピックに出場したことがある選手）を学校に迎えることを想定することにより、想像力を働かせ、どんなことに気をつけるとよいかを考え、車いすを使用する人にとっての生活場面でのバリアを探し出したり、解決の手立てを考えたりすることができる。
- ・障害の有無に関わらず、学校に来てくれる方のニーズを考えるというおもてなしの基本を理解できる。

3. 本時の位置づけ

- ・道徳の「思いやり」「相互理解」等の視点における事例学習として活用。
- ・総合的な学習の「福祉」の授業での活用。
- ・実際に学校内のバリアなどを確認する時間と合わせて、2時限で実施するとより効果的。

※その他、学級活動や学年集会などの時間を活用してもよい。

※実際にパラリンピアンを迎えての授業や講演などの前に実施すると効果的。

4. 指導の留意点、工夫点

- ・同じ車いすユーザーでも、小さな段差なら自分で越えられる人とそうでない人がいるなど、それぞれ状態もニーズも違うことを理解したうえで、障害の有無に関わらず、その人に主眼をおいたコミュニケーションをする必要があることを伝えられるとよい。
- ・何らかのバリアがあった場合、できないから仕方がないとするのではなく、なんとか解決策を考えようとする態度も育てたい。
- ・学内を確認する場合は、最初に予想をさせ、チェックポイントを洗い出すなど、観点を持った上で実施すると効果的である。
- ・どのような障害がある方を学校に招く設定とするのかは、学校の事情に合わせて変えてよい。

5. 準備物

- ・授業用シート（小 1-5）
- ・教師用ガイド（小 1-5）
- ・児童用ワークシート（小 1-5）
- ・映像資料①：
「長野 1998 パラリンピックアイススレッジスピードレース」
- ・映像資料②：「マセソン美季さんからのメッセージ」

資料映像①



資料映像②



<展開案> ※ 【 】内は経過時間

時間	学習活動 ○子どもの活動 (引き出したい児童の声)	指導上の留意点・配慮事項 ○教師の活動 (声かけ例)	準備物／教師参照物
導入 (5分) 【5分】	<p>○写真やヒントを見ながら、「マセソン美季さん」がどんなパラリンピアンか想像していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ選手なの？ ・外国の人？ ・パラリンピアンなの？ 	<p>・本時の学習に興味を持てるように、児童の既習事項や関心事から導入を工夫する。</p> <p>パラリンピアン「マセソン美季さん」は何のスポーツの選手でしょうか？</p> <p>○児童が持っている障害者のイメージを崩していけるように、少しずつ説明していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな競技かわかるかな？ ・どんな活躍をしたのかな？ ・長野パラリンピックで、金メダルを3個とった人なんだ。 <p>○競技の映像を見せ、マセソンさんやパラリンピックへの興味を広げる。映像は導入に使ってもよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業用シート (小1-5) ・教師用ガイド (小1-5) ・映像資料①：「長野1998パラリンピックアイススレッジスピードレース」
展開 (26分) 【31分】	<p>マセソンさんが、自分たちの学校に来るよ。お迎えの仕方を考えよう。心配なことはないかな？学校に来る1日のことを想像して、心配なこと（ところ）を書き出してみよう。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・児童用ワークシート (小1-5)
説明① 5分 記入 4分 発表 3分	<p>○マセソンさんの1日の動きや、自分自身の動きを想像できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校へは誰かと一緒に来るのかな？ ・体育館に段差がある！ ・玄関は階段だ！だいじょうぶかな？ ・ぼくなら持ち上げられると思う。 <p>○車いすの大きさや重さや幅などを知り、注意すべきことが想像できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そんなに重いの！ ・教室の机の間は通れるかな？ 	<p>○マセソンさんの1日の予定を説明する。</p> <p>○考えるヒントを徐々に出していき、具体的にイメージを持てるようにする。自分の学校の写真や校内図などを見せるとよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこから校長室に来るのかな？ ・学校までは、どこからどうやってくるのかな？ ・心配なことはないかな？書き出してみよう！ <p>○心配なことを発表させる時は、なぜそう思うのかの理由を説明させる。</p> <p>○考えるヒントの1つとして、車いすの大きさや重さなどを具体的にイメージさせる。</p> <p>○同じような重さ、大きさのものを用意して体感させてもよい。</p>	

時 間	学習活動 ○児童の活動 (引き出したい児童の声)	指導上の留意点・配慮事項 ○教師の活動 (声かけ例)	準備物／教師参照物
説明②4分	心配なことをどう解決すればよいかを考えよう！		
記入 5分	○解決方法を書き出す。	○ある程度心配な点が出たら、どうすればよいかを考えさせる。	
発表 5分	・一人ではもちあげられないから、段差をなくすためにどうすればいいか、校長先生などに相談したい。 ・自分たちが使っている机でご飯を食べるのは難しいから、大きい机を用意する。 ・机の横の荷物は片付ける。	○よい気付きを持てたことをほめる。 ○心配な点と解決方法を板書するとよい。 ○解決方法に危険な点はないかという観点もおさえる。	
まとめ (14分) 【45分】	マセソンさんに聞いてみよう！ マセソンさんが、いちばん心配なことは何だろう？		・児童用ワークシート (小1-5) ・映像資料②： 「マセソン美季さんからのメッセージ」
映像 3分	○マセソンさんの映像を見て、感想を発表し、いちばん心配な点を理解できる。	○マセソンさんと河合さんの思いを紹介する。	
事例紹介と感想 発表 4分		○映像と河合さんの思いについての感想などを聞きつつ、相手の立場に立って迎え入れることが一番必要であることを伝える。	
振り返り 5分	今日心に残ったことを書こう。		
発表 2分	○今日の授業で心に残ったことをワークシートに記入し、発表できる。 ・マセソンさんのいちばん心配なことは、階段や坂ではなく「かわいそうだと思われること」だった。思ってもみなかったので、驚いた。	○自身の気持ちに変化した様子を、具体的に記述できている児童がいれば発表させ、他の児童に展開したい。 ○記入状況を見て、ねらいにそって、相手のことを考えることや、難しそうなことも工夫しようとする気持ちを持った等の感想が書けている児童に発表させる。 <div>※「困っている人を助けてあげましょう。」と締めくくってしまうと、「障害がある人は、常に困っている人」と偏見を助長する恐れもあることに留意する。「困った時に支え合うのはお互い様。それが当たり前で、障害があるかどうかは関係ない」という考え方を育みたい。</div>	